

第20回文の京景観賞 一次選考 講評(都市景観部門)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
6	5	本郷給水所公苑	本郷2-7	綺麗に整備された公苑が、多くの人に親しみを 持って利用されている。しかし、屋上庭園であるが ゆえに、まち並み景観への貢献は評価が難しい。	90	3
				都会のポケットパークとして機能しているが、やや 特色が薄い。		
				区が維持、管理をする公苑で、四季の花々、園内 の設備も素晴らしい。		
				公苑の中にある池が対象となっている。池の中に 敷設された園路は雁行しており、楽しい仕掛けに なっているが、街路に接する池ではない点が惜し い。		
				良く整備された公園で、池の上の橋やバラ園は魅 力的な区民の憩いの場となっている。路面より高い 位置にあるので慣れ親しんだ人以外は利用機会 が少ないのが残念である。		
				給水所を覆う形でつくられ、地域の雰囲気になじ んでいる。形態や意匠が優れており、落ち着いた 構成になっている点が好ましい。		

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
22	1	林の中の「大塚公園みどりの図書室」	大塚4-49-2	公園の一角の住宅地に隣接した位置に佇んでいる。チューダースタイルのハーフティンバー的デザインを取り入れて、緑との調和を図り、良好な周辺環境に貢献している。	94	1
				ハーフティンバー風にデザインされた外観の建物が、緑に覆われた公園にマッチしている。		
				森の中にある瀟洒な図書館であり、都市の中にあまり見かけない、小ざっぱりとした上品な雰囲気が良好な景観をつくり出している。まち中にありながら、まちを外れた趣がある。		
				建物のデザインが周囲の公園と良くマッチしている。利用者が親しみを感じる建物であり、周囲のベンチも利用しやすい環境である。潤いと安らぎを感じさせる景観を形成している。		
				区の建築物であるので、周辺と良く調和している。		
				公園の一角を占める建物として、その名のとおり緑と調和している。外装デザインがグラフィックで子どもも親しみやすいと思う。		

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
27	4	新たな共同印刷	小石川4-14-12	<p>既存樹木を残しつつ、周辺に圧迫感を与えないように、ファサードを工夫している。播磨坂のさくら並木の交差点を象徴する景観となっている。</p> <p>印刷、製本業の集積地、文京区のシンボリック・中心的企業であり、この地域の景観を見事につくり出している。</p> <p>工事中であるが、今日的なデザインを感じさせる。周囲の交差する道路との調和を良く考えている。できれば完成された建物として評価したい案件である。</p> <p>数万㎡の大変大きな建築物が出現した。スケールの大きさを若干和らげるタテスリット窓が特徴的である。</p> <p>特徴的な旧本社のファサードを新本社でも継承していて、伝統ある社風が周辺にも落ち着きを与えている。交差点付近の木々が開放的な建物の一端を担っている。</p> <p>素晴らしい近代建築であるが、建物の前面に電柱と電線があることが少し気になる。</p>	93	2

第20回文の京景観賞 一次選考 講評(景観づくり活動部門)

受付 番号	プレ 選考 順位	名称	所在地	講評	計 (120点 満点)	順位
1	1	「ほんごう街クラブ」の継続的活動により、ふるさと景観の魅力を再発見する	主に旧本郷区エリア (本駒込、千駄木、白山、向丘、本郷など)	<p>街の魅力を継続して、発信している努力が評価に値する。</p> <p>長年の精力的な活動の様子が伺えます。</p> <p>他との比較はできないが、こうした活動は10～20年単位の永続性が必要で、そのための人材を組織として、いかに確保していくかが最大の課題である。</p> <p>地元地域をいろいろな角度で深堀して、その魅力を広めようとしている気持ちが伝わってきた。長い間継続して活動していることに敬意を表したい。</p> <p>景観の再発見、保存に取り組んだ継続的活動は高く評価される。特に古い史料の収集と現地調査を行い作成した景観マップは、景観保存の点からも価値ある資料となっている。会則も明確にした会員メンバーの活動でさらなる継続が期待される。</p> <p>景観審議会委員になったことをきっかけに地域の魅力を再発見し、継続的に活動していくことで、景観づくりの普及に大いに貢献していくと推察される。</p>	109	1

第20回文の京景観賞 一次選考 講評(こども景観写真部門)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
2	2	スイレンと内庭	後楽1-6-6 (小石川後樂園)	<p>都心にある庭園の素晴らしい風景を、子どもながらに良く捉えている点が素晴らしい。</p> <p>緑豊かな景色がうまく構成されている。小石川後樂園の内庭の広さが表現されている。</p> <p>スッポンのひなたぼっこが、もう少し大きく写っていれば、もっと面白い写真になったかなと思った。</p> <p>スイレンが咲く内庭の池が美しい。</p> <p>入口から一番奥に位置するスイレンの内庭の”静けさ”の音が聞こえるようだ。良い季節柄でもあった。</p> <p>スイレンの池と周囲のバランスが良く捉えられた構図で、写真として優れている。</p>	89	3

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
3	3	ずっと名前が分からなかった気になる坂	千駄木1と2の間 (解剖坂)	<p>坂道を子どもの目線で写しているの、見える角度が大人にとって新鮮だと思う。</p> <p>近隣を知る者だが、今までこの坂を「解剖坂」と呼ぶとは知らなかった。坂の上から見下ろした写真はパースがかかり、興味を引きます。</p> <p>普段利用している坂の名前を気にして、その景観を撮影したという、率直な感性で景観に興味を持った動機が好ましい。この撮影後、日本医科大学構内の改装工事が行われて景観が変わることで、坂の記録写真としての価値もある。</p> <p>学校からなのか、あるいは別の所からなのか、家に帰る近道はいつも一人だったのだろうか。少し不安に思いながら歩く、少年の姿が浮かんでくる。</p> <p>子ども心に坂の名が気になったのでしょうか。この写真はそのような感性を表現していると思う。</p> <p>日本医科大につながる道なので、名前の由来の方が中心になり、景観に焦点が当てられていないのが残念である。</p>	92	1

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
5	1	ご国寺にかかるようせいの橋	大塚5-40-1	社殿を写真の中心からずらし、虹を中心に置いた視点が子どもらしく、面白みを感じられる。	91	2
				いろいろな構造物で構成されている、お寺に架かった虹を橋と捉え、興味が向いているところが子どもらしいと感じた。		
				普段、慣れ親しんでいる寺の境内で、虹を見た景観を上手く撮影できている。緑豊かなお寺と広い空の構成が良く、文京区の特徴が的確に表現されている。		
				一瞬捉えた美しい写真だが、色合いがそれほどクリアでないのが残念。		
				護国寺と虹の組み合わせを、子供の目で捉えていることが面白く、区の大切な景観を表現していると思われる。		
				虹を「ようせいの橋」と表現したことに感心しました。		